

取扱説明書

このたびは、スリック製品をお買い求めいただきまことにありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき正しく、十分に性能を生かしてお使いください。
お読みになったあとは必ず保管し、わからないときには再読してください。

⚠ 注意 このマークは取扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

🚫 禁止 このマークは禁止（してはいけないこと）内容です。
説明にしたがい事故のないようお使いください。

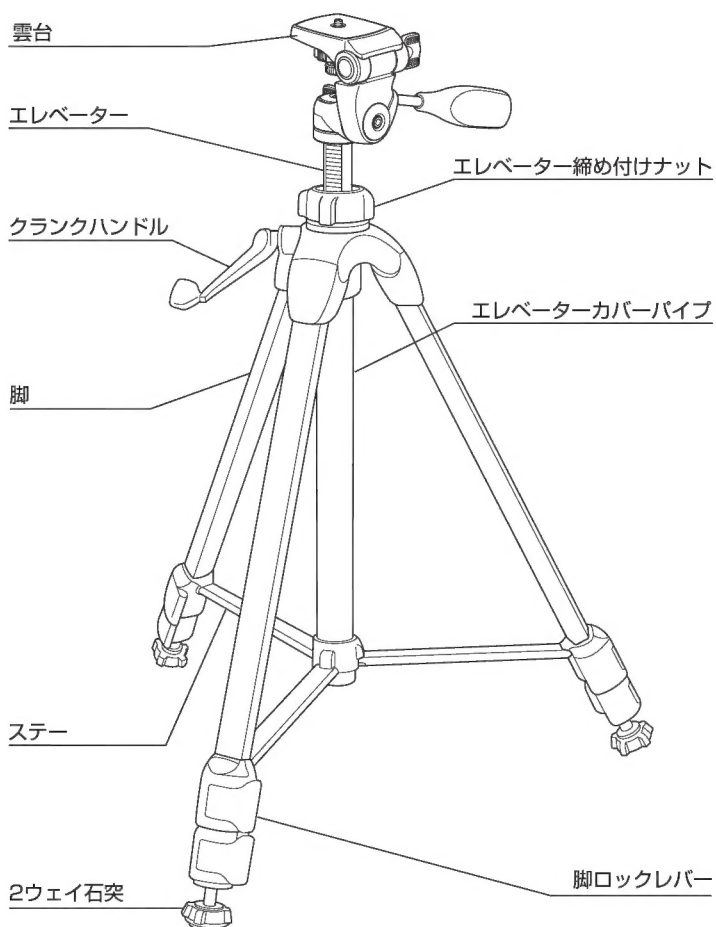
仕様

縮長	590 mm
全高	1,535 mm
E Vスライド	315 mm
質量	1,800 g

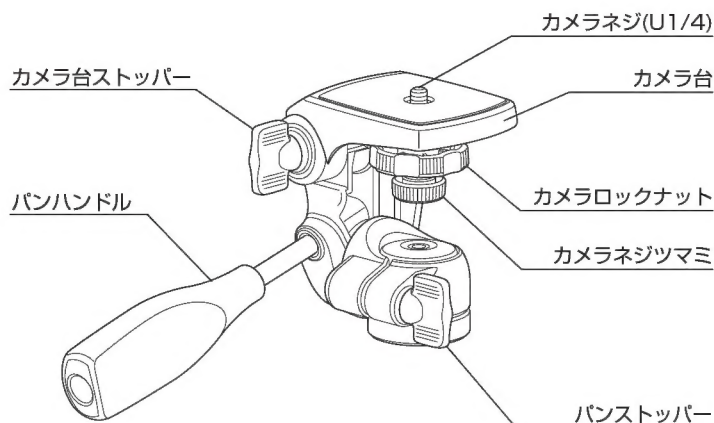
8572-3

三脚ケース付

各部名称



雲台



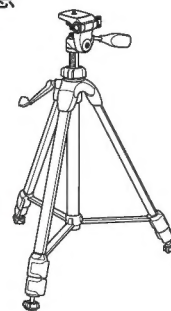
搭載する機材

🚫 禁止

この製品は、2kg位までの機材を載せるように作られています。これ以上の機材は載せないでください。また、上記搭載質量以下のものであっても重心位置によりバランスの取りにくいものもあります。そのようなときは、上のクラスの雲台をお使いください。

セットアップ

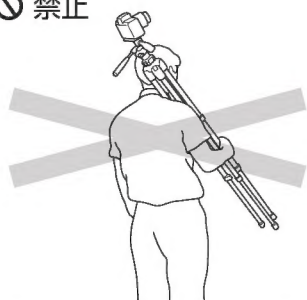
⚠ 注意



カメラの取り付け、ハンドル、ツマミ、レバー類のロックは確実に行って、落下や転倒を防いでください。

持ち運びのとき

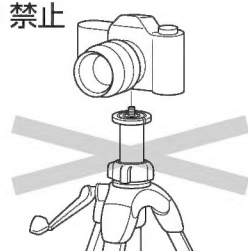
🚫 禁止



三脚にカメラを取り付けたまま移動すると思わぬ事故を起こすことがあります。カメラは三脚から外して運搬してください。

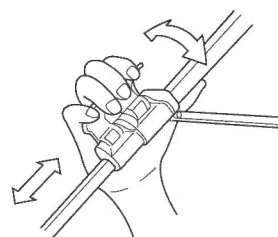
雲台取付けネジ

🚫 禁止



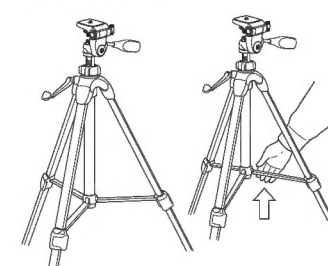
カメラを直接エレベーターに取り付けることは故障の原因になります。雲台などを介してお取り付けください。

脚の伸縮



脚ロックレバーを開くとパイプは伸縮できます。希望の位置でレバーをしっかりとロックしてください。

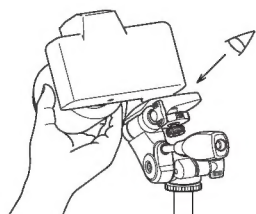
脚の開き方



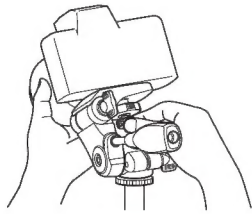
ステアがカバーパイプの下端にあたるまで一杯に開いてください。閉じるときはステアの下側に手をあてて、上にもちあげると閉じられます。

カメラの取り付け

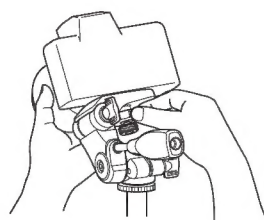
⚠注意



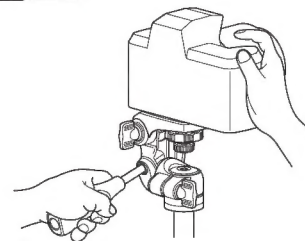
ハンドルを操作して、図示の様にカメラ台の手元をあげると、ネジ部が見えて取り付けやすくなります。



カメラをしっかり支えながら下側のカメラネジツマミでカメラネジを、ねじ込みます。

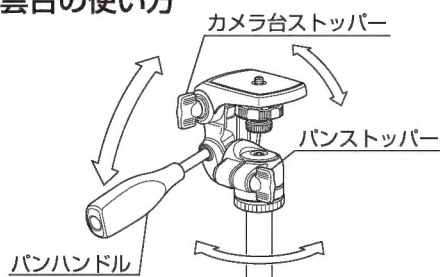


次に上側のカメラロックナットで、しっかりと締め込みます。



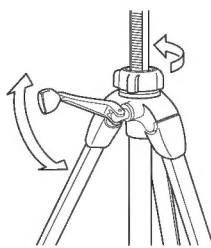
パンハンドルをゆるめたときは、固定するまでしっかり握って操作してください。

雲台の使い方



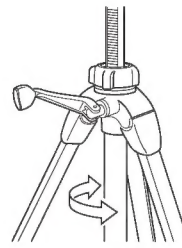
- ①パンハンドルをゆるめると前後にティルトできます。
- ②パンストッパーをゆるめると水平に回転できます。
- ③カメラ台ストッパーをゆるめると、水平調節ができます。

エレベーターの使い方



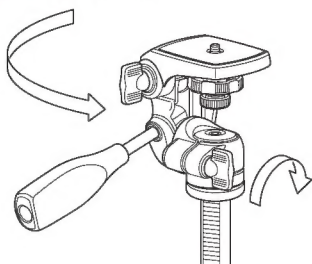
エレベーター締め付けナットをゆるめクランクハンドルを操作すると、エレベーターを上下できます。クランクハンドルから手を離す前に締め付けナットをしっかりロックしてください。

エレベーターのかたさ調節



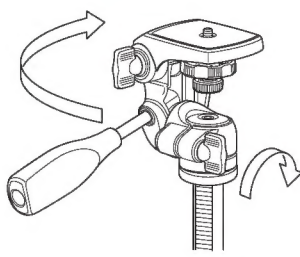
エレベーターの動きが固すぎたり、ゆるすぎたりしたときは、カバーパイプを回してかたさを調節してください。

雲台の取り外し



雲台を取り外すときは、始めに、三脚のエレベーターをエレベーター締め付けナットでしっかりと固定します。次に、雲台のパンストッパーをしっかりと締め込みます。パンハンドルを握って力強く反時計まわりに雲台を回します。これで雲台がゆるみます。

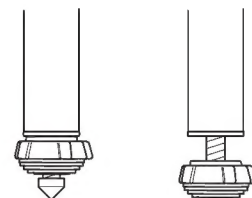
雲台の取り付け



雲台と三脚のネジを合わせます。雲台を時計まわりに止まるまで回します。パンストッパーをきつく締めて、さらに時計まわりにねじ込みます。パンストッパーをゆるめると通常にパンニングできます。

2ウェイ石突

⚠注意



石突部は、ゴム突とスパイクを併用していますので設置条件にあわせて使いわけしてください。室内で撮影されるときは、床面に傷をつけないようにご注意ください。スパイクで手をケガしないよう、注意して作業を行ってください。

お手入れ

- グリス、油の補給はしないでください。
- よごれたときには、中性洗剤をやわらかな布につけてふいてください。その後、きれいな乾いた布でふいてください。
- 火に近づけないようにしてください。夏など高温になる車内などに長時間放置しないでください。



*改良のため、お断りなくデザイン、仕様を変更することがありますのでご了承ください。

アフターサービス

製品の修理に関してはお問い合わせの販売店または販売元のケンコー・トキナーへご依頼ください。
本製品の補修用性能部品は製造中止後5年を目安に保有しております。
したがって本期間中は修理をお受けいたします。

インターネット・ホームページ <http://www.slik.co.jp/>

スリック株式会社

本社/〒350-1231 埼玉県日高市鹿山853

スリック製品販売元
株式会社 ケンコー・トキナー

〒161-8570 東京都新宿区西落合3-9-19 Tel. 03-5982-1060